

外洋湘南 御中
三浦外洋セーリングクラブ 御中
公益財団法人 日本セーリング連盟 御中

2014年8月10日
Trans-Sagami 2014 実行委員会

「Trans-Sagami Yacht Race 2014 落水事故の概要」
報告書の提出

前略

さて、2014年8月3日（日）開催の Trans-Sagami Yacht Race 2014 において、参加艇より落水者が発生し、海上保安庁に救助される事故が発生しました。

関係者にヒアリングした事実関係のみ、概要としてまとめました。別紙「Trans-Sagami Yacht Race 2014 落水事故の概要」報告書として提出します。

なお、詳細の事故報告書は改めて作成し近日中に提出する予定です。

草々

Trans-Sagami Yacht Race 2014 落水事故の概要

本書は、2014年8月3日（日）当該レース中に発生した落水事故の状況を、当事者および関係者よりヒアリングし、概要としてまとめた物である。詳細の事故報告は改めて後日発表予定である。

■レースの概要

レース名：Trans-Sagami Yacht Race 2014

開催日時：2014年8月3日（日）10:00 スタート

コース：静岡県下田市沖スタート、神奈川県三浦市小網代湾口フィニッシュ。

距離：約48マイル

参加艇数：IRCクラス28艇、ORCクラス8艇。合計36艇。

■ヒアリング対象者

1. 事故艇D号（艇種ツボイ1030・全長約33feet）艇長H1氏
2. 落水者H2氏
3. 救助捜索協力艇F号
4. 救助捜索協力艇W号
5. 救助捜索協力艇S号
6. レース本部S氏

■事故の概要

[落水事故の前段階]

- ・D号は乗員5名でフルメイン、マストトップスピンにて艇速7~12ktで帆走中。
- ・真風速は17~23kt程度であったが、ブローで25ktを超すようになった際に、スピンの上下をフォアステイに絡ませた。
- ・スピンの絡みを外そうと作業中（ジャイブを繰り返したりしていた）に、ワイルドジャイブが発生。

[落水事故発生]

14:00頃（注：他の証言から推測するともう少し前の可能性がある）

- ・ワイルドジャイブのため、艇はほぼ横倒しになった。水の抵抗に耐えきれず、ヘルムスマンH2氏（男性・71歳）が落水。
- ・発生箇所：大島の北側小網代浮標まで約17マイルの地点。
- ・事故発生時、乗員全員はライフジャケットを着用していたがハーネスのテザーは誰も装着していなかった。

[落水者捜索救助]

- ・ 落水者は手動膨張式ライフジャケットを開き浮いていた。
- ・ D 号は、落水者をワッチしながらメインセールダウンし機走で（スピンはフォアステイに絡んだまま）救助開始。
- ・ 何回か落水者に近づき、1 回はライフスリングをつかんだが絡んだスピンが風をはらみ艇速が落ちなかったため、引き上げられなかった。そうこうしているうちに、落水者を見失う。
- ・ 同時刻頃、近くを航行していた F 号が D 号の異変に気づき D 号に接近する。

14:10 頃

- ・ F 号は D 号から落水者発生を確認。この時点で風位 225 度、風速約 28kt。波高高し。

14:15 頃

- ・ F 号はセールダウンし、捜索開始。
- ・ W 号が D 号の異変に気づき、転進し D 号に近づく。その後 W 号も捜索開始。

14:20

- ・ F 号が VHF16 チャンネルで落水救助要請。巡視艇「あしたか」（横須賀海上保安部所属）が傍受。F 号より落水地点近辺の緯度経度を「あしたか」に伝える。巡視艇「あしたか」は相模湾内（湘南付近）で警備警戒中であった。
- ・ F 号が、シーボニアレース本部に電話するも話中（フィニッシュ前コールのためと思われる）のため、下田ポートサービス（12:00 まではレース本部）に落水事故発生と位置を電話連絡。

14:25

- ・ 下田レース本部より下田海上保安部に、落水事故を通報。

14:30 頃

- ・ D 号も直接レース本部に携帯電話で連絡するも繋がらなかった（携帯の電波状況が悪かった）。また、VHF での通報を試みるも機器の操作に不慣れで出来なかった。
- ・ D 号の陸上待機メンバー K 氏より、シーボニアレース本部に落水事故の連絡が入る。
- ・ 下田ポートサービスより、シーボニアレース本部に落水事故の連絡が入る。
- ・ S 号が、D 号の異変に気づく。
- ・ 巡視艇「あしたか」が、船長判断で落水者救助に向かう。

14:36

- ・ S 号は、セールダウンし機走にて D 号接近。この時点で風速は 25～26kt。

14:45 頃

- ・ S 号が、捜索と共に D 号の伴走開始。
- ・ 捜索中の W 号で落水者発生。こちらの落水者は程なく W 号自ら救助。
- ・ この時点で、D 号、F 号、W 号、S 号のヨット 4 艇で捜索。
- ・ F 号に代わり、S 号が巡視艇「あしたか」と交信。状況説明を行う。

15:08

- ・巡視艇「あしたか」が、落水者 H2 氏発見。

15:09

- ・巡視艇「あしたか」が、落水者 H2 氏救助。H2 氏は特に身体的変調は無し。

15:18 頃

- ・D 号は、絡んでいたスピンをマストトップ付近でカットし再搜索開始。

15:40

- ・F 号が、落水者救助の確認。リタイヤの決定。

15:41

- ・シーボニアレース本部、落水者救助の確認。

15:45 頃

- ・D 号、W 号、S 号も落水者救助の確認。D 号、S 号リタイヤ、W 号はその後レース続行。

以上

< 搜索協力艇 >

F 号 : JPN6115 < Forte > 艇長 : 井上貴支

W 号 : JPN6623 < ワイルドローバー > 艇長 : 赤川信男

S 号 : JPN5172 < そんごくう > 艇長 : 大河原大次

< 参考 >

写真 1. スピンカットを試みている状態の D 号。(写真提供 S 号)

